

町の活動特集 その2

ふれあい



5月13日

肥田町小宮祭が催された

初夏、30度の暑さも吹っ飛ばす「ふれあい」の祭です。
自治会の主催で、まずは山王権現神社、火伏せの神で湯の花上げて祭が始まる。ここには、おいなりさんとあたごさんが合祀され、五穀豊穡と防火の町の守護神として祀られ崇められている。
祭は、町の子どもたちから元気のない人々で子供神輿あり、大太鼓ありの盛り上がった巡行で、まさに肥田町の元気を象徴する催事です。併せて今年の無事を心から祈念する一日でもありました。

クリーンとマナー

4月15日

宇曽川堤防一帯のクリーン活動

自治会の役員と郷づくり委員による宇曽川堤防一帯のクリーン活動が行われた。心ない人々のゴミの不法投棄は依然として止まず頭の痛い問題です。粗大ゴミの取り扱いが変わり、これからが一層要注意。情報を自治会長までよろしくお願いします。



5月7日

みんなの町をみんなで美しく活動始める

本年に入ってから既に町内回覧もありましたが、彦根市の健康管理課と県の動物保護管理センターより、町の環境美化のために愛犬の管理について特に協力要請がありました。犬のフンをしっかりと後始末してくださいという呼びかけ運動でして、自治会及び郷づくり委員会として彦根市へキャンペーン看板とチラシを要望、別に町としてはスコップを用意し愛犬家30件の皆さんにお配りしご協力をお願いしています。看板は町内周辺3ヶ所に掲示し近隣の方々にも呼びかけています。



6月3日

宇曽川堤防草刈りクリーン活動実施

本格梅雨入り間近か、暑い暑い日でしたが、町民総出のクリーン活動、肥田町の堤防草刈り担当の範囲は、なんと全長2キロメートルの長くて広い範囲、今回は各組で担当区域を決めての作業。さくら公園を含めての長時間の作業ご苦労様でした。美しくなった堤防を爽やかな風が吹き抜けると、汗もまた爽やかに感じる事が出来ました。この時期この辺りは鮎つりで盛況となります。



スポーツ

5月27日

稲枝地区町別対抗ソフトボール大会に善戦

曇り空の下、本庄グラウンドで野良田チームと対戦、肥田町チームは、最強のメンバーを揃え、ありったけの若さで激突、豪打あり、ファインプレイありの好試合、8-8と引き分け、時間制限の処置で無念ながら勝ちを野良田に譲る結果となりました。その野良田チームがBゾーンでその後勝ち進み優勝されただけに実に残念、選手の方々の善戦に拍手を贈ります。



6月17日

稲枝地区バレーボール大会開催

稲枝中学校体育館

肥田町チームはBゾーンにおいて、第1試合は南稲部町、第4試合は雇用促進と対戦、熱闘を繰り広げましたが惜しくも敗退、しかしながらベテランと新人とのバランスの取れたチームづくりと、迫力いっぱいのママさんパワーは素晴らしく、これからの成長を頼もしく感じられた試合でした。選手の方、役員の皆さんご支援有難うございました。

出場選手…矢守京子、
滝幸子、伊関雅子、
元持弘恵、高瀬佐和子、
鶴野幸代、藤野裕子、
中村芳江、藤野紀子、
青木希与子、西田操、
宮川光子、鶴野さち子、
元持弘子

監督…大家勝治
体育部長…藤野隆司



hida

広報

ひだ

町木



第22号

肥田町
郷づくり委員会
H13.7.10発行

中国、北京を訪ねて

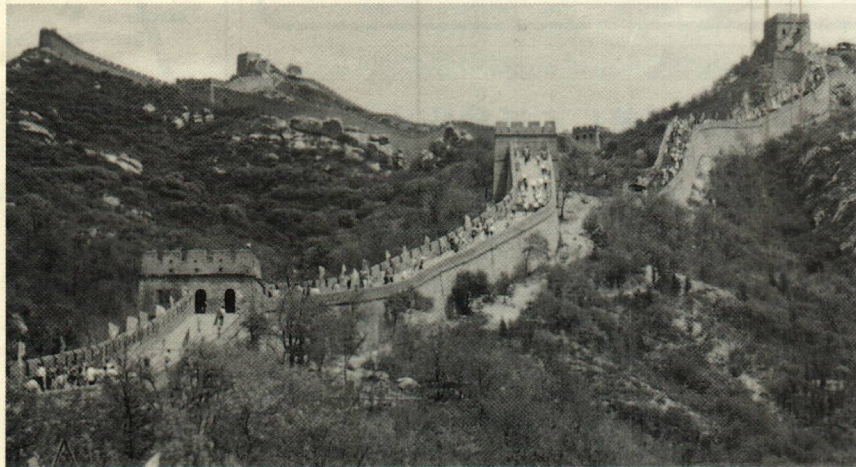
藤野 泰弘

今日、21世紀の世界の政治、経済の旗手として注目されている中国、首都北京へ私の古稀の記念として旅してきました。

私は、凡そ20年前にはビジネスとして度々この地も訪れていましたが、その素晴らしい大きな変わり方に目を瞠るばかりでした。

このところ次期オリンピックの候補地競争の真中にあるのも充分にうなづけました。幹線の道路は高速道路化し、その周辺環境は美化が徹底され、町の中に入ってもすっかり清潔感が行き届いています。中国に旅する人がとかく気にするのが、今までトイレでしたが、ホテル、観光地、飲食店など日本人が出入りするところは、北京に限っては大丈夫、ペーパーも備わってあるところが多く、水洗が殆どでした。北京の友達は地方の場合はまだまだでペーパーも充分に持つていくことと言っていました。

さて、世間では、旅は若いときの内にヨーロッパで、中国は近いから年寄ってからとも言われていますが、北京は違ふなと感じました。周辺に多くの世界文化遺産があり、その一つ一つが奥深く、その面積も奥深く、歩く歩く1時間2時間と。万里の長城、故宮博物院、十三陵等、歴史の重さに感動の連続で忘れさせてくれますが、足の丈夫



な事が肝要でしょう。食の方へと申しますと、四川あり広東あり上海料理あり楽しい限り。市場を見るのも当地の人々の食生活がわかり興味が湧きます。日本食のお店もあって、ざるそば、きつねうどんで落ち着きますよ。

北京で働く人に聞きますと、平均の賃金ベースは、丁度日本の昭和40年頃かなと思いましたがどうでしょう。町の人々の服装、ファッションも大変に明るくなりました。外車も多くなりました。観光のお客さんも、中国の地方の田舎の方の人々や、マレーシアの人々がぐんと増え、地方の経済が良くなっていることを反映していると伺いました。親しみを一段と感じてきました。また、訪ねたいところです。町内でもお仕事で中国に行っておられる方も増え、お隣さんとなつて来ました。是非ともお勧めのスポットです。以上、中国スポーツガイドまで。

おふくろの味



肥田町史にも紹介がありましたが、宇曾川は、昔は鮎川とも呼ばれ魚が豊富で築漁などにも利用されてき、昔の人々は恵まれた川魚を蛋白源として重宝されていました。

今回は川魚を、ひと味おいしくいただく処方「おふくろの味」を教えてくださいました。

材料

川 魚…1kg 醬 油…250cc ザラメ…220g
みりん…180cc 白砂糖…90g 酒…180cc
土しょうが…小1袋

川魚の炊き方

魚1kgを洗い、良く水を切る。鍋に醤油250ccを入れて沸騰させ、その中に魚を入れる。続いてみりん180cc、酒180ccを入れてザラメ220g、白砂糖90gを入れる。その中に土しょうがを短冊に切り、入れる。しょうがは魚の臭いを消すためです。

はじめは強火で、煮立ってきたら弱火で炊くこと。ふたは少しずらしておくこと。汁のなくなる少し前に火を止めること。打ち返したり、さわったりせずに炊き上げるのがコツです。歯の悪い方や柔らかめが好みの方は、白砂糖とザラメの分量を反対にすると良いでしょう。

提供 おふくろさんA

ひとくちメモ

あいさつについて

あいさつは、昔から「人と人との心を結びつけ、その人間関係を暖かくするものである」といわれています。

しかしながら、近年著しくあいさつのことが消え、またななざりになっているのが目に付きます。

良い躰は子どもの頃からといわれ、ご家庭で学校で地域社会でも、あいさつの良い習慣づくりへの努力が払われていますが、中々至難な問題です。しかしながら、これも根気との勝負。少なくとも最低

で朝の「おはよう」と夜の「おやすみ」、食事の時の「いただきます」「ごちそうさま」、嬉しいときの「ありがとう」、素直な心「ごめんなさい」、これだけでも家庭でみんなが交し合つ、お父さんも忘れずに、することを子どもの頃から皆で約束する、そして続けることが基本だと思います。大きくなつてくると、どうしても家族内の対話も少なくなつて来ましようが、この6つだけは皆の約束として大切に継続を厳しく守りつづけることで自然に心を開き合える時間も多くなれるのではないのでしょうか。



子どもの命は大人が守る

「もうすぐ夏休みです。みんながこども110番の心で」

地域では

- ・地域の子どもの行動や周囲の状況に関心をもってください。
- ・大人から子どもたちにあいさつし、気軽に声をかけあえる関係を築いてください。
- ・子どもの遊び場や通学路などで不審な言動をする者を見かけたときは、悲惨な事件を未然に防ぐために、ためらわず学校や警察に連絡してください。

彦根市青少年育成市民会議・彦根市PTA連絡協議会
彦根市子ども会指導者連合会・彦根市・彦根市教育委員会